

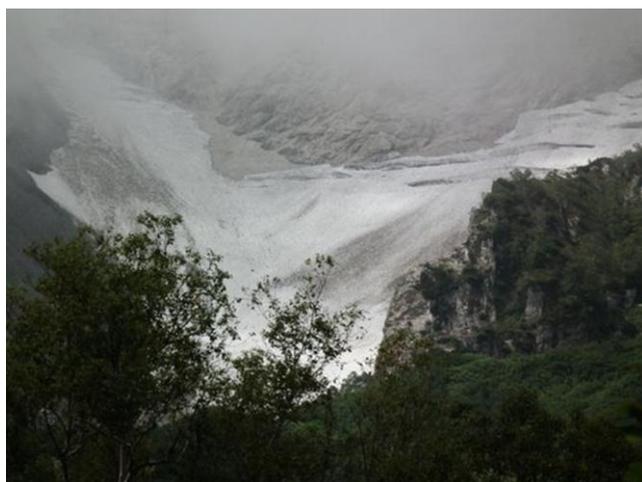
鑓温泉～鑓ヶ岳・杓子岳

山行日：9月25日（火）～26日（水） 天候：晴れ 参加者：イガ、他1名

コース：25日①自宅 3:57—猿倉 8:45～9:17…鑓温泉分岐 9:28…小日向山湿地 11:07～21…小日向コル 11:25…杓子沢 12:23…鑓温泉小屋 13:00 ②26日 鑓温泉小屋 6:05…大出原 7:40…2760m稜線分岐 8:19…白馬鑓ヶ岳 8:50～9:00…杓子岳北側下（ランチ） 9:53～10:23…白馬村営頂上宿舎 11:15～34…岩室跡 12:36…白馬尻 14:00…猿倉 15:00—自宅 19:30



遅い時間だからか人影のない猿倉、夏季シーズンには大混雑だろう。猿倉荘で登山届を出し歩き出す。目指すは鑓温泉！



上：鑓温泉への登山道より見る杓子岳岩壁
左：鑓温泉下よりみる小日向山（右）低いところがコル、そのコルが中間点となり、左山腹の道を歩くこと1時間30分で鑓温泉小屋到着。



左上：鑓温泉下の湯滝、手を差し込むと暑いこと！ もったいない！
右上：小屋と野天風呂と裏手の岸壁
右：猿倉より歩くこと約4時間、ようやく第一目標の温泉到着、早く温まりビールを飲もう。



左：露天風呂、見苦しいので無人のうちに一枚、ここは希望があれば混浴とのこと、そんな勇気のある人はなく、男性ばかりの入浴。
下：翌日小屋上から温泉小屋を見る。



ミヤマキンポウゲ



アキノキリンソウ



左上：大出原より見る天狗鑓、まだ稜線まで1時間ほど 右上：大出原より見上げる白馬鑓ヶ岳
左：縦走路分岐よりこれから行く白馬鑓ヶ岳、となりの杓子岳と同じく白い山肌が印象的だ。



鑓ヶ岳の私

50年ぶりに見る杓子から白馬岳への道、記憶をたどるが、老いた頭では考えるのも無理と！ もっとも重い二尺四寸が肩に食い込み、下ばかり歩いていたので記憶のないのも無理はないと！ 重いザックを言い訳に、おかげさまで新鮮な気持ちで山々を眺めることができた。



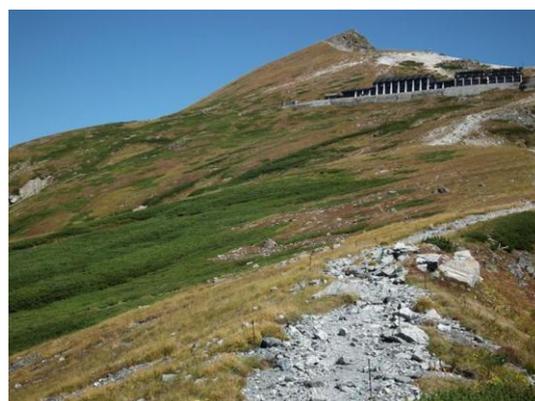
不帰への縦走路、遠く見えるのは剣岳と立山



左奥は双耳峰の鹿島槍ヶ岳



ミヤマダイコンソウ（紅葉）と白馬岳



白馬岳とホテル、山頂へは行かず大雪渓へ下る。



左：町営宿舎より大雪溪へ下る。登山者の多いせいか道は荒れて歩きにくい。正午近くのため登ってくる登山者はチラホラ、静かな登山道だけは救いだ。

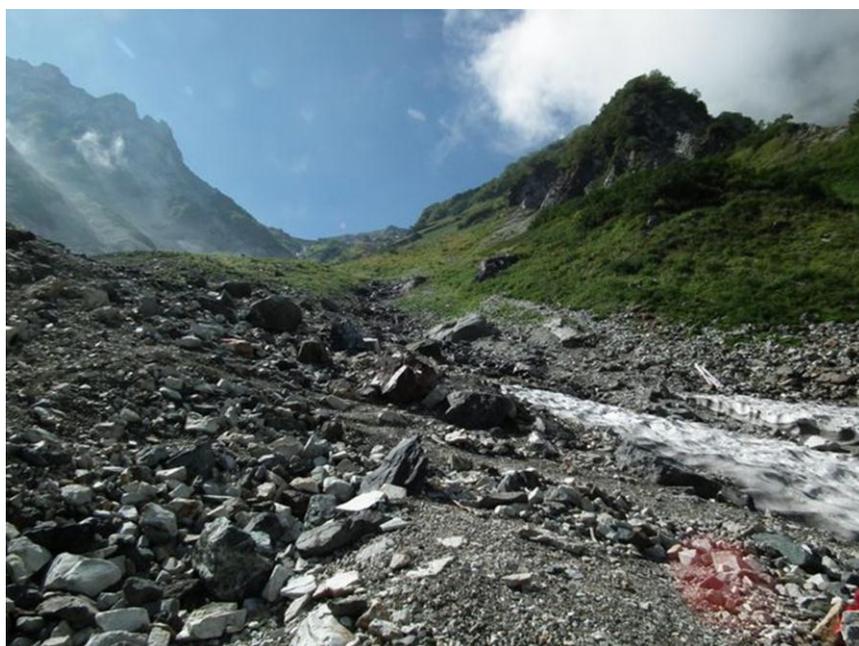
下：麓平下より見上げる大雪溪、雪溪は消え大きな岩の転がる道は非常に歩きにくい。落石の音や小さな土石流の音が谷間に響く。



ヤマリトラノオ



チョウジギク



山中で会った登山者は圧倒的に単独の人が多かった。その中でも白馬尻付近で会った下山中の人は、年配の女性一人、足を痛め歩くのもやっとの状態、タクシー予約してあるが、時間に遅れるからと伝言を受け下った。

久しぶりの白馬の山旅、今回は温泉が第一目標、それも達成。満足した山旅を無事終えることができた。